

2009年度

科目名	生物学		
担当教員	井上 美智子		
配当	教育3	コード	14040
開期	通年	講時	月曜日4限
		単位数	4
授業テーマ	宇宙史・地球史・生命史のなかの人間		
目的と概要	地球に生命圏が存在するようになった前提とそれを支える環境とその現状・自分との関係について学びます。それを通し、今ここに生きていることについて各自が考え、自分なりの生命観・環境観を持つことが最終目標です。同時に、生命をめぐる領域では学問分野にこだわらない学際的な探求が進んでいること、現在の環境の問題点を考えるには生命をめぐる歴史的な視点が必要不可欠であること、自然科学は常に発展途上のものであること、自然科学で明らかになったことは私たちに新しい世界の見方を与えてくれることなどを知ってもらいたいと思います。		
成績評価法	授業中のミニレポートと期末試験(論述形式)		
テキスト	なし。		
参考書	授業で紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	●自然科学領域の一般教養試験を授業開始時に行います。教員採用試験等を受験予定の人は、活用してください。 ●授業の中で塗り絵をしたり、グラフを作成したりします。色鉛筆等が必要な回があります。		
講義計画			
第1回 オリエンテーション 第2回 共通教育科目を学ぶ必要性は何か？ 第3回 私はどこにいる？ 第4回 宇宙の始まり 第5回 スケール 第6回 宇宙の果てはあるのか？ 第7回 物質の始まり 第8回 地球の始まり 第9回 いのちって何？ 第10回 生物って何？ 第11回 生命はどのように誕生したか？ 第12回 生命誕生には何が必要だったか？ 第13回 地球の変化 第14回 宇宙・地球・生命の歴史の年表づくり 第15回 前期のまとめ 第16回 進化とは何か？ 第17回 種の多様性 第18回 生態系 第19回 種の多様性が生まれるために必要なこと 第20回 つながり 第21回 環境とは何か？ 第22回 環境問題とは何か 第23回 地球の気温を決めるもの 第24回 地球温暖化問題とは？ 第25回 地球温暖化をめぐる二つの立場 第26回 化学物質汚染問題とは？ 第27回 環境リスクと健康リスク 第28回 地球の現状 第29回 持続可能な社会の形成 第30回 後期のまとめ			